

伊勢神宮と 神宮大麻

伊勢の神宮は、皇室の御祖先である天照大御神をまつる皇大神宮(内宮)と、衣食住の守り神である豊受大御神をまつる豊受大神宮(外宮)の両正宮を中心とし、一二五のお社からなります。三重県伊勢市に鎮座し、日本の国をお守り下さっている総氏神さまとして国民の崇敬が寄せられています。

神宮大麻は、「天照皇大神宮」の神号に神さまの印が押されている伊勢の神宮のお神札です。

全国の総氏神さまである神宮のお神札として、氏神さまのお神札とともにまつりします。清浄を第一に神宮で整えられ、毎年、全国の氏神さまより各家庭に配られます。



皇大神宮(内宮)

氏神さま

氏神さまは皆さんが住んでいる地域をお守り下さる神さま(神社)です。鎮守さま、産土さまとも呼ばれ、地元の人々によって大切におまつりされています。お宮参りや七五三などの人生儀礼も氏神さまで行います。

神棚のまつり方

私たちは、神々や大自然、ご先祖さまの恵みのもとに生きています。各家庭で神棚をおまつりすることで、その感謝の心を表すとともに、日本の心を伝えていきます。

神棚は居間など、家族の集まる家の中心に設け、神宮大麻と氏神さま、他に崇敬する神社のお神札を納めておまつりします。新年には新しいお神札を受けるとともに、家内が無事であることを祈念し、古いお神札は氏神さまに納めます。

家庭のおまつりQ&A

Q 神棚がない場合はどうしたらいいの？

A タンスや本棚の上などをきれいに整え、そこに宮形を置いておまつりしてもよいでしょう。また、壁掛けにもできる小型の宮形もあります。神棚が設置できない場合もありますが、大切なのはおまつりする心です。できることから工夫し、家族の幸せを祈りましょう。

Q お供えには何が必要なの？

A 神棚に毎日お供えする神饌(神さまの召し上がりもの)には、お米お塩お水があります。いずれも私たちが生きてゆく上で欠かせないものです。お正月や家族にとって大切な日には、酒や野菜、果物などもお供えしたり、いただき物やその年の初物などは、まず神棚にお供えしてからいただくなど、各家庭でまつり方を工夫してみましょう。

Q 不幸があった場合はどうすればいいですか？

A 家庭で不幸があった場合、一般的には最大五十日間を忌中として故人のおまつり(供養)に専念し、その間、神棚のまつりは遠慮します。忌の期間が正月をはさむ場合は、忌が明けてから氏神さまよりお神札を受け、神棚におまつりしましょう。



一般的な神棚のまつり方

※神棚が南か東を向くように設けます。

宮形へのお神札の納め方

| | |
|----------------------------|------------------------|
| 一社づくりの場合 | 三社づくりの場合 |
| 崇敬神社 氏神神社 天照皇大神宮(手前) | 崇敬神社 天照皇大神宮 氏神神社 |

頭の宮 宇賀部神社

〒642-0014 海南市小野田 917 番地
TEL073-487-3285・FAX073-487-5431
ホームページ <http://www.okobe.org>

携帯サイト

